JA全農ぐんま

食と農を未来へつなぐ

県本部通信

Monthly Zen-noh Gunma

1
2024 January
No.260

This month's photo

「農業応援！」フォトコンテスト2023 最優秀作品

©群馬県ぐんまちゃん

Contents

事業のうごき
新年のご挨拶
インフォメーション
がんばってます！
JAピックアップ！
アートクッキング
花木流通センター便り

ZENNOH_GUNMA

JA全農ぐんま
公式インスタグラム
情報発信中！
ぜひご覧ください

農とあゆむプロジェクト

私たち全農グループは、生産者と消費者を安心で結ぶ懸け橋になります。

私たちは「安心」を3つの視点で考えます。
■ 営農と生活を支援し、元気な産地づくりに取り組みます。
■ 安全で新鮮な国産農畜産物を消費者にお届けします。
■ 地球の環境保全に積極的に取り組みます。

JA全農ぐんま
https://www.zennoh.or.jp/gm/

事業のうごき

畜産農産部

▶酪農畜産課

○生乳の計画生産の推進

○初妊牛導入推進

○素牛導入推進

○種豚導入推進

○渋川家畜市場若齢子牛の集荷推進

（優良ＥＴ卵産子の活用促進）

▶米麦特産課

○令和５年産大豆集荷推進

○令和５年産民間流通麦引取推進

○令和６年産民間流通麦契約面積播種推進

○こんにゃく荒粉・精粉入札販売の実施

園芸部

▶園芸販売課

○共計ホウレンソウ販売　（周年）

○共計チンゲンサイ販売　（周年）

○共計味ニラ販売　（周年）

○共計下仁田ネギ販売　（１月末日迄）

○共計上州ネギ販売　（２月末日迄）

○共計春菊販売　（２月末日迄）

○共計土ネギ販売　（３月中旬迄）

▶園芸総合対策課

○ＪＡ野菜振興計画の目標達成に向けた取り組み支援

○農産物の安全・安心確保対策

○園芸作物生産実証農場の運営

▶園芸資材課

○春用出荷資材予約推進

（段ボール・パック・フィルム・果実用資材他）

○低コスト段ボール

（ＡＫライナー・ショートフラップ化）推進

○来年度産青果物段ボール予約推進

○温床資材予約推進

（農ビ・トンネル資材・こんにゃくマルチ他）

○春まき用野菜種子推進

（ホウレンソウ・エダマメ・トウモロコシ他）

○種馬鈴薯納品

生産資材部

▶肥料農薬課

○セルフブレンド推進

○麦肥料農薬推進

○茎葉処理除草剤大型規格推進

○バンカーシート推進

▶担い手推進課

○大規模・系統未低利用生産者への推進支援

○ＪＡの出向く体制強化支援

▶施設住宅課

○賃貸アパート・個人住宅推進　（周年）

○カクイチ物置・広スペースハウス推進　（周年）

○住友不動産（株）「新築そっくりさん」推進　（周年）

生活燃料部

▶生活課

○蓄電池推進　（周年）

○シロアリ防除事業推進　（周年）

○ＪＡタウン取扱品目拡大

○仕込み味噌推進　（10～３月）

○2024年度頒布会「旬鮮倶楽部」加入推進

（12～２月）

▶葬祭センター

○ペット火葬推進　（周年）

○墓石事業取扱拡大推進　（周年）

▶ガス課

○ガス・でんき新規獲得推進　（４月～３月）

○給湯器燃料転換推進　（４月～３月）

○ＪＡでんき農畜産物プレゼントキャンペーン

（７月～２月）

新年のご挨拶

新年のお慶びを申し上げます

令和６年の新春を迎え、皆様のご健勝をお祈りいたしますとともに、全農群馬県本部を代表いたしまして年頭のご挨拶を申し上げます。

昨年は、コロナウイルスが５類相当に引き下げられ、私たちの生活もようやく感染拡大前に戻り始めました。しかしながら猛暑日が過去最高を記録したほか、自然災害も多く、群馬県内においても凍霜や降雹、突風、大雨などにより大きな被害が発生しました。被災された方々につきましては心よりお見舞い申し上げます。新しい令和６年が、災害のない実りの多い平穏な一年になることを願うばかりです。

本県の農業を取り巻く状況は、少子高齢化による担い手の減少、農業資材等の価格高騰が農業経営に大きな影響を及ぼす一方で、国産農畜産物の販売価格に反映されないことなどから、生産現場は厳しさを増しております。また、世界情勢の緊迫や地球規模での自然災害の発生、世界の人口増加による需給のひっ迫など、多くの食料を輸入に頼っている我が国では、食を取り巻くリスクが一段と高まっています。

そのような中、食料安全保障の強化に向けて、農畜産物の再生産に配慮した適正な価格形成の実現を求めるとともに、国民が必要として消費する食料は、できるだけその国で生産するという「国消国産」の考え方を皆様にご理解いただけるよう取り組んでおります。

令和６年も組合員・生産者や地域住民の皆様、各関係者との連携のもと、持続可能な地域社会づくりに貢献できるよう努めて参ります。皆様の農畜産業に対するご理解とご協力を賜りますよう、本年もよろしくお願い申し上げます。

全国農業協同組合連合会　群馬県本部
運営委員会会長　林　康　夫

第28回ジャンボ生玉コンテスト

11月27日(月)、群馬県蒟蒻生産協会主催の「第28回ジャンボ生玉コンテスト」が、花木流通センターで行われました。当コンテストは、こんにゃく芋の認知度向上やこんにゃくの消費拡大を目的に例年開かれ、栽培技術を競います。群馬県や米麦特産課職員が審査員を務め、重量やバランス・傷みの有無を評価し、出品された13のこんにゃく芋の中から、JAたのふじ高橋本さんの「あかぎおおだま」が最高賞の横綱を受賞しました。通常出荷されるこんにゃく芋は、重さ1キロ程度とされますが、横綱を受賞した「あかぎおおだま」は育成期間4年、重量25.8キロで、今回出品された中では最重量を記録しました。

TAC及び営農・経済渉外担当者出向く活動研修会

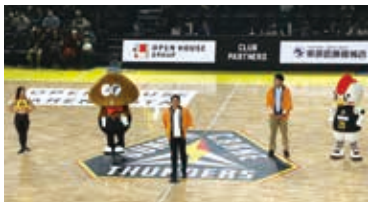
11月27日(月)、担い手推進課はJAビルで「TAC及び営農・経済渉外担当者出向く活動研修会」を開催しました。職員のスキルアップを目的として行われた当研修会は今回が2回目の開催となりました。7JAのTAC及び営農・経済渉外担当者13人がグループワークを通じて班ごとに出し合った意見を共有し、営農渉外活動に必要となるスキルを磨きました。

甘楽富岡営農センター地鎮祭

12月2日(土)、JA甘楽富岡営農センターの地鎮祭が甘楽郡甘楽町の建設予定地で行われ、JA甘楽富岡・施工業者・当県本部関係者らが出席しました。この施設は甘楽支所と甘楽営農センターを一カ所に集約した拠点となり、令和6年6月頃の完成予定です。式典では鍬入れや玉串奉奠などの儀式が行われ、工事の安全や無事の完成が祈願されました。

群馬クレインサンダーズに協賛 ぐんまのきのこスペシャルマッチ

12月2日(土)、群馬県きのこ振興協議会が協賛する男子バスケットボールB1リーグ「群馬クレインサンダーズ」のホームゲームがオープンハウスアリーナ太田で開かれました。同協議会は消費者との交流を図り、毎年試合の冠スポンサーを務めています。アリーナ前に出展されたブースでは、県産しいたけ1500セットと県産シイタケとニラを使った中華スープ約400食が無料で配布され、県産きのこをPRしました。同協議会の東間会長は、試合前のあいさつで県産きのこの消費を呼びかけました。



各団体が共進会を開催

▲ 12/4 和牛名誉賞 加藤さん

▲ 12/4 交雑種名誉賞 小林さん

牛肉消費の最需要期となる12月、各団体の共進会が開催されました。各共進会とも、県産食肉の安全性や品質をPRし、畜産経営の活性化を図ることを目的として開催され、県内各地から優秀な枝肉が多数出品されました。最優秀賞を受賞した方々は以下のとおりです。

●第16回群馬県産上州和牛枝肉共進会12月1日㈮

（主催：全農群馬県本部、群馬県JA肥育部連絡協議会、群馬県JA繋殖和牛部連絡協議会）

最優秀賞

肥育者	㈱加藤牧場	（JAにったみどり）
繋殖者	野口　伸枝	（JA北群渋川）

●第31回 ぐんまふれあいミートフェスタ 群馬県枝肉共励会（牛肉の部）　12月4日㈪

（主催：群馬県食肉品質向上対策協議会）

名誉賞 和牛	加藤真理子	（JAにったみどり）
交雑種	小林　寛実	（JAにったみどり）

●第62回上州牛枝肉共進会　12月11日㈪

（主催：㈱群馬県食肉卸売市場）

最優秀賞

黒毛和牛	㈱加藤牧場	（JAにったみどり）
交雑種	㈱芦田牧場	（JA前橋市）

●第29回肉牛枝肉共進会　12月18日㈪

（主催：群馬県JA肉牛肥育部連絡協議会）

最優秀賞

黒毛和種	佐藤　敬三	（JA甘楽富岡）
交雑種	㈱阿久澤牧場	（JA前橋市）

「農業応援！」フォトコンテスト2023 入選作品の決定

▲ 最優秀作品 @niiiicoonさん

８月から９月にかけて、ＪＡ全農ぐんま公式インスタグラム（@zennoh-gunma）で開催されたフォトコンテストの受賞作品が決定しました。当コンテストは「農業応援！」をテーマとして、国産および群馬県産の農畜産物を撮影した写真をインスタグラムで募りました。合計で250点を超える応募作品の中から、当県本部役職員による審査の結果、13点の作品が入選しました。入選者には県産ステーキ肉や果物などが贈呈されます。たくさんのご応募ありがとうございました。

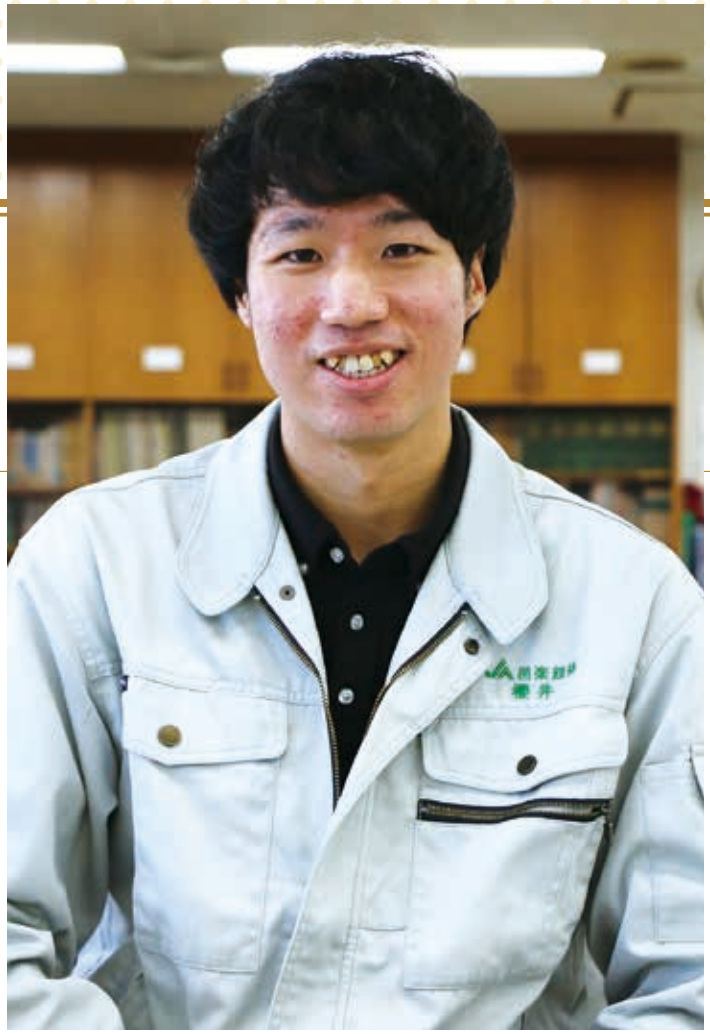
▲ 優秀作品 @k.8___a.10さん

▲ 優秀作品 @karaage.photoさん

13点の入選作品は、ＪＡ全農ぐんまホームページやインスタグラムで公開しています。

「ルージュ」という単語は、多くは「口紅」の意味で使われますが、フランス語で「赤」を意味します。「ルージュの宝石箱」はその名のとおり、ミニトマトが真っ赤に輝く様子から名付けられたフルーツミニトマトです。高糖度で、甘さと酸味のバランスが良く、濃厚な味わいはまるでフルーツのようです。軽く水洗いしそのまま生で食べるのがおすすめですが、火を通すことでより強く甘みが感じられます。

おいしい日本と暮らそう
JAタウン
www.ja-town.com
アクセスはこちら！
https://www.ja-town.com/shop/c/c3201



がんばってます!

JA邑楽館林　経済部　生産資材課

櫻井　夢徒さん

＼ Profile ／

さくらい・ゆめと（27歳）

趣味・特技…… キャンプ、登山、バスケットボール観戦
好きな食べ物 …… からあげ

▼職場の皆さんから見て…
課内では中核職員として中心的な役割を担い、周りに配慮しながら柔軟に対応してくれる頼れる存在です。

▶受発注業務をする櫻井さん

「生産現場の負担軽減へ 有益な情報提供を」

―入組して何年目ですか？
６年目です。

―ＪＡに就職したきっかけは？
食べることが好きで食に興味があったことや、地元志向が強く地元で就職したい思いがあったためにＪＡへの入組を決めました。

―実際に働いてみていかがですか？
総合農協であるＪＡ邑楽館林では、想像以上に様々な事業を行っており、習得しなければならない知識がたくさんありましたが、いろいろな分野に目を向けることができるので、勉強になっています。

―お仕事内容を教えて下さい。
生産から出荷までに使われる種子や肥料、農薬、ハウス資材などの生産資材のほか、段ボールなどといった出荷用資材などの受発注業務や在庫管理を行っています。

―心掛けていることはありますか？
肥料や農薬の在庫を切らすことなく、適切な在庫管理ができるよう心がけています。中には海外から仕入れているため納品が半年ほど先になるような品もあります。気候の影響など様々な要因によって需給を先読みし、適切な在庫が確保できるよう努めています。

―やりがいを感じるときは？
経験を積む中で習得した知識を生かすことができるとやりがいを感じます。世界情勢の影響を受けて変動する肥料や農薬の価格変動を先読みし、想定した動向が実際の動向と一致すると、改めて経験を重ねてきたことを実感します。

―休日はどのように過ごされていますか？
春や秋には県内でキャンプをしたり、登山に挑戦したりと、アウトドア関連のことをして過ごします。また、学生時代にバスケットボールをしていたので、バスケットボール観戦もします。

―今後の意気込みをお聞かせください。
生産現場での作業省力化や低コスト化に向けて、生産者にとって有益な情報発信ができるよう、より一層情報収集に力を入れ、さらに経験を積んでいきたいです。

―櫻井さん、これからも農家・組合員さんのために頑張ってください！ありがとうございました。

JAピックアップ！
～JAの活動をご紹介～

JA北群渋川

▲ 秋作トレビス目揃い会開催。８年目も安定出荷へ

期待のトレビス 安定出荷維持へ

JA北群渋川トレビス部会は11月上旬、吉岡町の野菜センターで目揃い会を開催しました。生産者、職員合わせて14人が出席し、出荷規格の確認や収穫時の留意点などについて申し合わせを行いました。

JA営農経済部の金沢弘昌販売アドバイザーは「今年で８年目、試行錯誤してきた成果が実り始めている。トレビスの産地として認知されつつあるので、これからも産地化を目指して力を尽くしていきたい」と話しました。

同部の石関直樹担当は「生産者が高齢化していく中で作物が軽量であるために新たな品目として広げていきたい。今年は夏の猛暑で生育が遅れたが順調で、秋作は計１万400㎏出荷する計画。品質向上と安定出荷を維持していきたい」と話しました。

プロ野球選手が練習指導 JA甘楽富岡と JA共済連群馬が共催

JA甘楽富岡とJA共済連群馬は、12月10日、地域貢献活動の一環として群馬県出身４人のプロ野球選手らを招き、富岡市民球場にてJA共済連地域貢献活動少年野球教室を開きました。子供たちの健全な成長を目的としたこの活動は、2019年より続いており、今回で５回目。甘楽富岡地域の全14の少年野球チームから116人の児童が参加し、練習前のストレッチ方法や投球、バッティングの練習方法を楽しみながら学びました。

講師は、アスレチックトレーナーの塚原謙太郎氏、埼玉西武ライオンズから柘植世那選手と西川愛也選手、中日ドラゴンから清水達也選手とブライト健太選手らが務め、児童たちは講師らの指導を聞きながら真剣に時に笑顔を見せ楽しく練習を行いました。

JA甘楽富岡

▲ 投球方法について質問する児童ら（10日、富岡市で）

JAみどりの風 放映予定

※タイトル・放送内容等は変更になることがあります。

GTV 3ch 放映のお知らせ

番組名／提供	放送日 ※再放送日	時　間
新春対談／JA群馬中央会	1月1日(月)	PM 9:00～ 9:30
	※1月7日(日)	AM 8:00～ 8:30
農業に活力を！JA太田市青壮年部／JA太田市	1月8日(月)	PM 9:00～ 9:30
	※1月14日(日)	AM 8:00～ 8:30
国府ブランド野菜／JAはぐくみ	1月15日(月)	PM 9:00～ 9:30
	※1月21日(日)	AM 8:00～ 8:30
はぐくむ夢とこころざし！安中総合学園高校／JA群馬中央会	1月22日(月)	PM 9:00～ 9:30
	※1月28日(日)	AM 8:00～ 8:30

中村 柚貴子アナ

Art Cooking

下仁田ねぎ焼き

Food adviser **石垣 惠美**

1979年から群馬県家の光講師。
FM局等でも活躍中。

材料

2人分　（1人分238kcal）

- 下仁田ねぎ……1本
- しょうが……1かけ
- 赤パプリカ……15g
- 強力粉……70g
- かつおだしの素……小さじ1/2強
- 水……80～110cc
- サラダ油……小さじ2弱
- しらす干し……20g
- チーズ……20g

たれ

- 醤油……適量
- 七味唐辛子……適量

作り方

1. 下仁田ねぎを洗い、小口切りにする。
2. しょうが・赤パプリカを粗みじん切りにする。
3. ボールに強力粉・かつおだしの素・水を加え、ややゆるめの固さになるよう混ぜる。
4. フライパンに油を敷いて**3**の生地を丸く流し、上に下仁田ねぎ・パプリカ・しらす干しを散らして焼く。
5. **4**の表面に火が通ったら裏返して両面を焼き、チーズを散らしてオーブントースターでチーズがとろけるまで焼く。
6. 放射線状に切り、たれをはけでぬる。

花木流通センター便り

●定 休 日▶毎週火曜日
※店内では、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策にご協力ください。

X で情報発信中！
ぜひご覧ください

KABOKU
花木流通センター

JA 新鮮ぐんま みのり館

	営業時間	定休日
花木流通センター	4・5月:9:00~17:00 6~3月:9:00~16:00	4月・5月:無休営業 6月~3月:毎週火曜日定休
みのり館	4~3月:9:00~17:00	年末年始を除いて無休営業
棟名十文字うどん	4~3月:11:00~14:30	

住所・お問合せ
前橋市亀里町1307-1
TEL 027-220-2427
FAX 027-220-2424

【お詫びと訂正】
「県本部通信12月号」に関しまして、一部記載内容に誤りがございました。お詫びして訂正いたします。
対象箇所 裏表紙 Art Cooking 作り方3　正：揚油　誤：揚湯

『県本部通信』における個人情報の取扱いについて
『県本部通信』に投稿いただいた方の個人情報は、プレゼントの発送やお返事、紙面での紹介に使用させていただきますのでご了承ください。また、これらの個人情報は前記の目的以外には使用せず、ご本人より事前に同意をいただいた場合以外には一切開示いたしません。

自由なご意見・ご感想をお寄せください。
《あて先》〒379-2147 群馬県前橋市亀里町 1310 番　JA 全農ぐんま「県本部通信」係まで
E-mail：info-gunma@gm.zennoh.or.jp

□発行／令和6年1月1日発行　□発行人／高田　宗徳　□ホームページアドレス／https://www.zennoh.or.jp/gm/　□E-mail／info-gunma@gm.zennoh.or.jp
□発行所／全国農業協同組合連合会群馬県本部　管理部企画経理課　〒379-2147 前橋市亀里町1310番地　TEL027-220-2223　Fax027-220-2229
R100 古紙配給率100%再生紙を使用しています
PRINTED WITH SOYINK この印刷物は大豆インキを使用して制作しています。